

令和7年度

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科

博士前期課程

工学専攻

学 生 募 集 要 項

推薦入学特別入試
一般入試
飛び級入試
社会人特別入試

鳥 取 大 学

※鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻では、高い研究能力を持つ学生を学内外から積極的に受入れ、優れた研究者及び技術者を育成するため、①推薦入学特別入試、②一般入試、③飛び級入試、④社会人特別入試及び⑤外国人留学生特別入試を実施します。この募集要項は、外国人留学生特別入試以外の入試について記載しています。

[各入試日程]

(推薦入学特別入試)

	推薦入学特別入試
出願期間	6月3日(月)～6日(木)
試験日	7月5日(金)
合格発表	7月24日(水)
入学手続	令和7年3月中旬

(第1回 一般入試, 社会人特別入試)

	一般入試	社会人特別入試
出願資格審査 申請期間	5月21日(火)～24日(金)	
	※21ページ又は22ページを参照	
出願期間	7月23日(火)～26日(金)	
試験日	8月21日(水)	
合格発表	9月5日(木)	
入学手続	令和7年3月中旬	

(第2回 一般入試, 飛び級入試, 社会人特別入試)

	一般入試	社会人特別入試	飛び級入試
出願資格審査 申請期間	9月30日(月)～10月2日(水)		
	※21ページ又は22ページを参照		※11ページを参照
出願期間	10月28日(月)～10月31日(木)		
試験日	12月5日(木)		
合格発表	12月20日(金)		3月4日(火)
入学手続	令和7年3月中旬		

目 次

	頁
I. 推薦入学特別入試	1
II. 一般入試	5
III. 飛び級入試	11
IV. 社会人特別入試	15
V. 入学手続等	19
VI. 出願資格審査	21
VII. 入学者の受入れの方針	23
VIII. コース一覧	24

I. 推薦入学特別入試

1. コース及び募集人員

コース	募集人員
機 械 宇 宙 工 学 コ ー ス	4 5 人
情 報 エ レ ク ト ロ ニ ク ス コ ー ス	5 0 人
化 学 バ イ オ コ ー ス	4 0 人
社 会 シ ス テ ム 土 木 コ ー ス	3 0 人
計	1 6 5 人

※上記の募集人員は、推薦入学特別入試、一般入試、社会人特別入試、飛び級入試、外国人留学生特別入試の合計です。

2. 出願資格

次のすべてに該当する者

(1) 次の①、②のいずれかに該当する者

① 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者

② 工業高等専門学校専攻科を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
(これに該当する場合は、学校教育法第104条第7項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者であること。)

(2) 学業成績、人物ともに優れ、将来工学の研究分野において貢献ができる者

(3) 合格した場合は入学が確約できる者

3. 志望方法

志望は、いずれか一つのコースに限ります。

志望するコースを入学志願票の志望コース欄に記入してください。

なお、出願にあたっては、事前に指導希望教員と相談のうえ出願してください。

※志望コースについては、24ページを参照してください。

4. 出願手続

(1) 出願期間

第1回 令和6年 6月 3日(月)から 6月 6日(木)まで (必着)

受付時間は、9時から17時まで

(2) 出願書類提出先

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部教務係

(3) 出願方法

入学志願者は、次の(4)の出願書類等を直接持参又は郵送により提出してください。

なお、願書を郵送する場合は「書留」とし、封筒の表に「大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻出願書類等在中」と朱書してください。(期間内必着)

(4) 出願書類等（※出願書類受付後の記載事項の変更は認めません。ただし、⑦ TOEIC®スコア証明書は除く。）

①入学志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
②写真票, 受験票, 振替払込受付証明書貼付票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 写真（上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを）を写真票及び受験票の所定の位置に貼り付けてください。＜写真の大きさ：縦4cm×横3cm＞ 検定料を本学所定の振込用紙で振り込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。
③推薦書	本学所定の用紙により学科長又は指導教員（もしくはこれに準ずる者）が作成、厳封したもの。 入手しにくい場合は自己推薦書とし、自己をアピールする文章、本研究科を志望した動機及び入学後の研究計画を記載したもの（A4判2枚程度で任意様式）。
④卒業（修了）証明書又は 卒業（修了）見込証明書	出身（在籍）大学等の長などが作成したもの。 ただし、鳥取大学工学部を卒業した者及び卒業見込みの者は提出不要です。
⑤学士の学位授与証明書 又は授与申請の証明書等	出願資格(1)の②に該当する志願者で、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。ただし、授与される見込みの者は、学士の学位授与を申請する予定の証明書（所属長が発行したもの）。
⑥成績証明書	出身（在籍）大学等の長などが作成し、厳封したもの。 ただし、鳥取大学工学部を卒業した者及び卒業見込みの者は提出不要です。
⑦TOEIC®スコア証明書 （原本またはデジタル公式 認定証） ・TOEIC®-公開テスト ・TOEIC®-IP （カレッジTOEIC®を含む）	出願開始日から遡って、3年以内に受験したもの。 （TOEIC®スコア証明書の原本は書類確認後返却します。） *出願書類提出後、TOEIC®スコア証明書の差し替えを希望する者は、第1番目の試験科目の直前に限り試験室にて提出（差し替え）することを認めます。スコア証明書の原本は面接時に返却します。 *TOEIC®デジタル公式認定証はプリントアウトしたものを提出してください。
⑧受験票等返送用封筒	郵便切手354円分（速達料を含む。）を貼った長形3号封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記してください。
⑨住所シール	住所シールに合格通知書及び入学手続き書類を受け取る郵便番号、住所、氏名を記入してください。
⑩住民票等 （外国人志願者のみ）	日本に在住する外国人志願者は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し（両面）等、在留資格が記載されたものを、その他の外国人志願者はパスポートの写しを提出してください。
⑪検定料	30,000円 本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口又は郵便局（ゆうちょ銀行）窓口で振込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。（ATMは利用しないでください。また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。） 「振替払込請求書兼受領証」は領収書となりますので、大切に保管しておいてください。 ※検定料は、令和6年5月30日（木）～6月6日（木）までの期間に振り込みをしてください。

	<p>なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>(ア) 検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった）場合</p> <p>(イ) 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合</p> <p>(ウ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>上記（ア）～（ウ）に該当する場合は、必ず工学部教務係（TEL 0857-31-5186）へ連絡してください。返還の際には、「振替払込受付証明書」又は「振替払込請求書兼受領証」が必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。（返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。）</p>
--	--

注：TOEIC®スコア証明書を紛失した場合

受験後2年以内であれば再交付が可能です。再交付についての詳細は、TOEIC運営委員会に直接問い合わせるか、TOEIC公式HPを参照してください。鳥取大学の学生で、鳥取大学主催（TOEIC®-IP）のTOEIC®スコア証明書の再交付については、学生部教育支援課教務企画係（TEL 0857-31-5054）に、鳥取大学生生活協同組合主催（カレッジTOEIC®）のTOEIC®スコア証明書の再交付については、鳥取大学生生活協同組合（TEL 0857-28-2333）に問い合わせてください。

なお、TOEIC®スコア証明書の再交付には、申請から約2週間かかりますので注意してください。

5. 入試方法

入学者の選抜は、出願書類、面接（口頭試問を含む）の結果を総合して判定します。

6. 試験日時及び試験場等

試験日時 令和6年 7月 5日（金） 9時～

試験場 〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部
試験室等については、試験前日午後3時から工学部正面玄関に掲示します。

集合場所 各コース面接控室

7. 受験にあたっての留意事項

- (1) 試験当日、受験者は試験開始15分前までに試験室に入室してください。
- (2) 試験開始時刻に遅れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- (3) 試験当日、受験者は受験票を必ず持参し、試験の際には机の上に置いてください。なお、受験票を忘れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。
- (4) 試験開始から終了までの間は退出を認めません。試験中の発病又は用便等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- (5) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は、試験時間中に使用してはいけません。試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等にしまっておいてください。試験時間中に身に付けていたり、手に持っているとは不正行為となることがあります。
- (6) 試験場の下見では、建物内への立ち入りを禁止します。
- (7) 本学は、構内全面禁煙です。

8. 身体に障がいのある入学志願者の事前相談について

障がい等のために、受験上及び修学上配慮を希望する者は、令和6年5月22日（水）までに、次の事項を記載した文書（様式自由）に医師の診断書又は障害者手帳の写しを添えて、鳥取大学工学部教務係へ提出してください。

なお、本研究科が必要と認めた場合には、本研究科において志願者又はその立場を代弁し

得る者等との面談等を行います。また、上記期限後に、不慮の事故等により配慮が必要となった者は、その時点で速やかに相談してください。

- (1) 志願者の氏名，住所，連絡先電話番号
- (2) 志望コース
- (3) 出身大学，学部，学科等
- (4) 障がいの種類・程度
- (5) 受験上特別な配慮を希望する配慮
- (6) 修学上特別な配慮を希望する配慮
- (7) 出身大学等でとられていた修学上及び生活上等の措置
- (8) 日常生活の状況

9. 合格発表

令和6年 7月24日（水）11時

本学ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、本人あて「合格通知書」を郵送します。(https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/)

なお、電話等による照会には一切応じません。

10. 推薦入学特別入試で不合格となった者の取り扱い

推薦入学特別入試で不合格となった者のうち、一般入試の受験を希望する者は受験を認めます。

11. その他

大規模災害等の不測の事態により入学試験の予定通りの実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は、試験時間の短縮や試験日時、入試方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合、対応を本学ホームページでお知らせしますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。

令和7年度
鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻入学者選抜試験
(推薦入学特別入試)

入学志願票

		受験番号	※
志望コース	コース		
フリガナ		鳥取大学学生番号 (本学在学生のみのみ)	
氏名			
生年月日	年 月 日生	性別	男 ・ 女
出願資格	国立 公立 私立 大学 学部 学科 短期大学 高等専門学校 専攻 卒業 ・ 卒業見込 ・ 修了 ・ 修了見込		
連絡先	〒	携帯電話	電話
履歴書			
年 月	高等学校卒業		
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			

- 注 1. 記入にあたっては、必ずインク又はボールペン（黒又は青）を使用してください。
2. ※印の欄を除きすべて記入し、該当事項を○で囲んでください。
3. 履歴は、高等学校卒業から現在（卒業見込み等）までを空白期間が無いように記入してください。なお、記入欄が不足する場合は、適宜別様に記載してください。
(自宅学習・予備校等も、もれなく記入してください。)

令和7年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 **写真票**
(推薦入学特別入試)

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
志望コース	コース

上半身・無帽・正面向き
出願3か月以内に撮影→

写真貼付 4 cm × 3 cm

令和7年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 **受験票**
(推薦入学特別入試)

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
志望コース	コース

写真票と同一のもの→

写真貼付 4 cm × 3 cm

*志望コースについてはコース一覧を参照

(切り離さないでください)

見本

令和7年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 (推薦入学特別入試)

振替払込受付証明書貼付票

- ◎日付印のある「振替払込受付証明書」を貼り付けてください。
- (本人保管の「振替払込請求書兼受領証」は貼り付けしないでください。)
- ・必ず銀行又は郵便局(ゆうちょ銀行)窓口で振り込んでください。
(ATMは利用しないでください)
 - ・「振替払込受付証明書」に日付印が無い場合は無効です。

〔推薦入学特別入試〕

推 薦 書

年 月 日

鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科長 殿

推薦者（所属・職名）

（氏 名） _____ 印

志願者氏名	
-------	--

志願者の学力・適性等について記入してください。また、志願者の席次や上位何パーセント以内であるか等、なんらかの相対評価を盛り込んでください。（記入後は厳封願います。）

見 本

II. 一般入試

1. コース及び募集人員

コース	募集人員
機 械 宇 宙 工 学 コ ー ス	4 5 人
情 報 エ レ ク ト ロ ニ ク ス コ ー ス	5 0 人
化 学 バ イ オ コ ー ス	4 0 人
社 会 シ ス テ ム 土 木 コ ー ス	3 0 人
計	1 6 5 人

※上記の募集人員は、推薦入学特別入試，一般入試，社会人特別入試，飛び級入試，外国人留学生特別入試の合計です。

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与させる見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で22歳に達した者及び令和7年3月31日までに22歳に達する者
 (注) 上記(9)で出願する者は22ページ、(10)で出願する者は21ページを参照してください。

3. 志望方法

志望は、いずれか一つのコースに限ります。
 志望するコースを入学志願票の志望コース欄に記入してください。
 なお、出願にあたっては、事前に指導希望教員と相談のうえ出願してください。
 ※志望コースについては、24ページを参照してください。

4. 出願手続

(1) 出願期間

第1回 令和6年 7月23日(火)から 7月26日(金)まで (必着)
 第2回 令和6年10月28日(月)から10月31日(木)まで (必着)
 受付時間は、9時から17時まで

(2) 出願書類提出先

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部教務係

(3) 出願方法

入学志願者は、次の(4)の出願書類等を持参又は郵送により提出してください。

なお、郵送の場合は「書留」とし、封筒の表に「**大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻出願書類等在中**」と朱書してください。(期間内必着)

(4) 出願書類等 (※出願書類受付後の記載事項の変更は認めません。ただし、⑦ TOEIC®スコア証明書は除く。)

①志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
②写真票, 受験票, 振替払込受付証明書貼付票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 写真(上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの)を写真票及び受験票の所定の位置に貼り付けてください。<写真の大きさ:縦4cm×横3cm> 検定料を本学所定の振込用紙で振り込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。
③志望理由書	本研究科を志望した動機、入学後の研究計画及び本研究科修了後の将来の抱負を記載したもの(A4判2枚程度で任意様式)。
④卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書	出身(在籍)大学等の長などが作成したもの。 ただし、鳥取大学工学部を卒業した者及び卒業見込みの者は提出不要です。
⑤学士の学位授与証明書 又は授与申請の証明書等	出願資格(2)に該当する志願者で、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。ただし、授与される見込みの者は、学士の学位授与を申請する予定の証明書(所属長が発行したもの)。 または、出願資格(6)に該当する志願者で、当該大学が発行したもの。ただし、授与される見込みのものは、学士の学位授与を申請する予定の証明書(所属長が発行したもの)。
⑥成績証明書	出身(在籍)大学等の長などが作成し、厳封したもの。 ただし、鳥取大学工学部を卒業した者及び卒業見込みの者は提出不要です。

<p>⑦TOEIC®スコア証明書 (原本またはデジタル公式認定証) ・TOEIC®-公開テスト ・TOEIC®-IP (カレッジTOEIC®を含む)</p>	<p>出願開始日から遡って、3年以内に受験したもの。 (TOEIC®スコア証明書の原本は書類確認後返却します。) *出願書類提出後、TOEIC®スコア証明書の差し替えを希望する者は、第1番目の試験科目の直前に限り試験室にて提出(差し替え)することを認めます。スコア証明書の原本は面接時に返却します。 *TOEIC®デジタル公式認定証はプリントアウトしたものを提出してください。</p>
<p>⑧受験票等返送用封筒</p>	<p>郵便切手354円分(速達料を含む。)を貼った長形3号封筒に、住所、氏名、郵便番号を明記してください。</p>
<p>⑨住所シール</p>	<p>住所シールに合格通知書及び入学手続き書類を受け取る郵便番号、住所、氏名を記入してください。</p>
<p>⑩住民票等 (外国人志願者のみ)</p>	<p>日本に在住する外国人志願者は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し(両面)等、在留資格が記載されたものを、その他の外国人志願者はパスポートの写しを提出してください。</p>
<p>⑪検定料</p>	<p>30,000円 本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口又は郵便局(ゆうちょ銀行)窓口で振込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。(ATMは利用しないでください。また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。) 「振替払込請求書兼受領証」は領収書となりますので、大切に保管しておいてください。 ※検定料は、第1回入学試験を志願する者は令和6年7月12日(金)～7月26日(金)までに、第2回入学試験を志願する者は令和6年10月21日(月)～10月31日(木)までの期間に振り込みをしてください。 なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (ア) 検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった)場合 (イ) 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合 (ウ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合 上記(ア)～(ウ)に該当する場合は、必ず工学部教務係(TEL 0857-31-5186)へ連絡してください。返還の際には、「振替払込受付証明書」又は「振替払込請求書兼受領証」が必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。(返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。)</p>

注：TOEIC®スコア証明書を紛失した場合

受験後2年以内であれば再交付が可能です。再交付についての詳細は、TOEIC運営委員会に直接問い合わせるか、TOEIC公式HPを参照してください。鳥取大学の学生で、鳥取大学主催(TOEIC®-IP)のTOEIC®スコア証明書の再交付については、学生部教育支援課教務企画係(TEL 0857-31-5054)に、鳥取大学生協同組合主催(カレッジTOEIC®)のTOEIC®スコア証明書の再交付については、鳥取大学生協同組合(TEL 0857-28-2333)に問い合わせてください。

なお、TOEIC®スコア証明書の再交付には、申請から約2週間かかりますので注意してください。

5. 入試方法

入学者の選抜は、出願書類、学力検査及び面接の結果を総合して判定します。
試験科目等は、10ページを参照してください。

6. 試験日及び試験場

試験日 第1回 令和6年 8月21日(水)

第2回 令和6年12月 5日(木)

試験場 〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部

試験室等については、試験前日午後3時から工学部正面玄関に掲示します。

7. 受験にあたっての留意事項

- (1) 試験当日、受験者は試験開始15分前までに試験室に入室してください。
- (2) 試験開始時刻に遅れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- (3) 試験当日、受験者は受験票を必ず持参し、試験の際には机の上に置いてください。
なお、受験票を忘れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。
- (4) 試験開始から終了までの間は退出を認めません。試験中の発病又は用便等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- (5) 試験科目(面接を含む。)のうち1科目でも受験しなかった者は、選考対象になりません。
- (6) 机の上には、黒鉛筆(シャープペン可)、鉛筆キャップ、消しゴム、定規、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)、関数電卓(化学バイオコース及び社会システム土木コースの試験で、関数電卓を持参することになっている科目の受験時のみ)以外の携行品を置くことは出来ません。
- (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は、試験時間中に使用してはいけません。試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等にしまっておいてください。試験時間中に身に付けていたり、手に持っているとな不正行為となることがあります。
- (8) 試験場の下見では、建物内への立ち入りを禁止します。
- (9) 本学は、構内全面禁煙です。

8. 身体に障がいのある入学志願者の事前相談について

障がい等のために、受験上及び修学上配慮を希望する者は、第1回は令和6年7月5日(金)までに、第2回は令和6年10月18日(金)までに、次の事項を記載した文書(様式自由)に医師の診断書又は障害者手帳の写しを添えて、鳥取大学工学部教務係へ提出してください。

なお、本研究科が必要と認めた場合には、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る者等との面談等を行います。また、上記期限後に、不慮の事故等により配慮が必要となった者は、その時点で速やかに相談してください。

- (1) 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号
- (2) 志望コース
- (3) 出身大学、学部、学科等
- (4) 障がいの種類・程度
- (5) 受験上特別な配慮を希望する配慮
- (6) 修学上特別な配慮を希望する配慮
- (7) 出身大学等でとられていた修学上及び生活上等の措置
- (8) 日常生活の状況

9. 合格発表

第1回 令和6年 9月 5日(木) 11時

第2回 令和6年12月20日(金) 11時

本学ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、本人あて「合格通知書」を郵送します。(https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/)

なお、電話等による照会には一切応じません。

10. その他

大規模災害等の不測の事態により入学試験の予定通りの実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は、試験時間の短縮や試験日時、入試方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合、対応を本学ホームページでお知らせしますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。

コース	日時	科目等		配点
機械宇宙工 学コース	9:00～11:00	数学	線形代数, 微積分, 常微分方程式, ベクトル解析, フーリエ解析, 複素関数	200
	12:30～14:30	機械物理	機械工学で使用する基礎物理 (質点系, 剛体, 弾性体, 振動, 流体, 熱)	200
	15:00～	面接		合・否
		出願書類	英語 (TOEIC スコア)	200
			その他の出願書類	可・否
合計			600	
情報エレク トロニクス コース	9:00～11:00	数学	微分積分, 線形代数	200
	14:00～	面接		100
		出願書類	英語 (TOEIC スコア)	100
			その他の出願書類	可・否
合計			400	
化学バイオ コース	9:00～12:00	専門 ※専門科目は志願票で選択してください。出願後の変更は認められません。	有機化学・分析化学, 無機化学・物理化学, 微生物学・分子生物学, 生化学・構造生物学 (関数電卓を持参してください。)	2科目選択 300×2
	14:00～	面接		100
		出願書類	英語 (TOEIC スコア)	200
			その他の出願書類	可・否
合計			900	
社会システ ム土木コー ス	9:00～11:00	専門	構造力学・コンクリート構造学, 水理学・土質力学, 経営科学・環境工学・防災工学, 地域都市計画・経済学 (関数電卓を持参してください。)	2科目選択 100×2
	12:30～14:00	数学		100
	15:00～	面接		100
		出願書類	英語 (TOEIC スコア)	100
			その他の出願書類	可・否
合計			500	

Ⅲ. 飛び級入試

「大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（飛び級）」の入学者選抜試験

1. 出願資格

次のすべてに該当する者（志望のコースと関連のある教育課程を履修したものが望ましい）。ただし、事前に以下の各要件についてその資格の審査を行います。

- (1) 令和7年3月31日において、大学における在学期間が3年以上の者、又は外国において、学校教育における15年の課程を修了した者
 - (2) 令和7年3月31日において、卒業要件単位数（卒業研究及び4年次開講科目を除く。）を修得見込みの者
 - (3) 学業成績が極めて優秀であると本研究科が認めた者
- (注) 上記(3)の詳細については、工学部教務係にお問い合わせください。（裏表紙に記載の問い合わせ先参照）

2. 志望方法

志望は、いずれか一つのコースに限ります。

志望するコースを入学志願票の志望コース欄に記入してください。

なお、出願にあたっては、事前に指導希望教員と相談のうえ出願してください。

※志望コースについては、24ページを参照してください。

3. 出願手続

- (1) 出願資格審査申請期間

令和6年 9月30日(月)から10月 2日(水)まで（必着）

受付時間は、9時から17時まで

- (2) 出願期間

令和6年10月28日(月)から10月31日(木)まで（必着）

受付時間は、9時から17時まで

- (3) 出願書類提出先

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部教務係

- (4) 出願方法

事前に出願資格審査を行いますので、入学志願者は、次の(5)の①～⑩の出願書類等を持参又は郵送により提出してください。ただし、郵送の場合は「書留」とし、封筒の表に「大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻出願書類等在中（飛び級）」と朱書してください。

なお、審査結果は令和6年10月9日(水)に通知しますので、審査に合格した者は令和6年10月21日(月)から10月31日(木)までの間に⑩の検定料30,000円を振り込みのうえ、⑫の振替払込受付証明書貼付票を提出してください。

- (5) 出願書類等(※出願書類受付後の記載事項の変更は認めません。ただし、⑥TOEIC®スコア証明書は除く。)

①志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
②写真票, 受験票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 写真(上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの)を写真票及び受験票の所定の位置に貼り付けてください。<写真の大きさ:縦4cm×横3cm>
③志望理由書	本研究科を志望した動機、入学後の研究計画及び本研究科修了後の将来の抱負を記載したもの(A4判2枚程度で任意様式)。
④成績証明書	在籍大学等の長などが作成し、厳封したもの。 ただし、鳥取大学工学部の在學生は提出不要です。
⑤在学証明書	在籍大学等が作成したもの。 ただし、鳥取大学工学部の在學生は提出不要です。
⑥TOEIC®スコア証明書 (原本またはデジタル公式 認定証) ・TOEIC®-公開テスト ・TOEIC®-IP (カレッジTOEIC®を含む)	出願開始日から遡って、3年以内に受験したもの。 (TOEIC®スコア証明書の原本は書類確認後返却します。) *出願書類提出後、TOEIC®スコア証明書の差し替えを希望する者は、第1番目の試験科目の直前に限り試験室にて提出(差し替え)することを認めます。スコア証明書の原本は面接時に返却します。 *TOEIC®デジタル公式認定証はプリントアウトしたものを提出してください。
⑦履修の手引	在籍大学等の授業内容一覧を含んだもの。 ただし、本学在學生は提出不要です。
⑧受験票等返送用封筒	郵便切手354円(速達料を含む。)を貼った長形3号封筒に、住所、氏名、郵便番号を明記してください。
⑨住所シール	住所シールに合格通知書及び入学手続き書類を受け取る郵便番号、住所、氏名を記入してください。
⑩住民票等 (外国人志願者のみ)	日本に在住する外国人志願者は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し(両面)等、在留資格が記載されたものを、その他の外国人志願者はパスポートの写しを提出してください。

出願資格審査に合格した者は、下記⑪により検定料を振り込みのうえ、⑫の検定料振込済証明書貼付票を提出してください。

⑪検定料	<p>30,000円</p> <p>本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口又は郵便局(ゆうちょ銀行)窓口で振込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。(ATMは利用しないでください。また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。)</p> <p>「振替払込請求書兼受領証」は領収書となりますので、大切に保管しておいてください。</p> <p>※検定料は、令和6年10月21日(月)～10月31日(木)までの期間に振り込みをしてください。</p> <p>なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>(ア) 検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった)場合</p> <p>(イ) 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合</p> <p>(ウ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>上記(ア)～(ウ)に該当する場合は、必ず工学部教務係(TEL</p>
------	---

	0857-31-5186)へ連絡してください。返還の際には、「振替払込受付証明書」又は「振替払込請求書兼受領証」が必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。(返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。)
⑫振替払込受付証明書貼付票	検定料を本学所定の振込用紙で振り込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。

注：TOEIC®スコア証明書を紛失した場合

受験後2年以内であれば再交付が可能です。再交付についての詳細は、TOEIC運営委員会に直接問い合わせるか、TOEIC公式HPを参照してください。鳥取大学の学生で、鳥取大学主催（TOEIC®-IP）のTOEIC®スコア証明書の再交付については、学生部教育支援課教務企画係（TEL 0857-31-5054）に、鳥取大学生生活協同組合主催（カレッジTOEIC®）のTOEIC®スコア証明書の再交付については、鳥取大学生生活協同組合（TEL 0857-28-2333）に問い合わせてください。

なお、TOEIC®スコア証明書の再交付には、申請から約2週間かかりますので注意してください。

4. 入試方法

入学者の選抜は、出願書類、学力検査及び面接の結果を総合して判定します。学力検査及び面接については、一般入試と同じです。10ページを参照してください。

5. 試験日及び試験場

試験日 令和6年12月 5日（木）

試験場 〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部

試験室等については、試験前日午後3時から工学部正面玄関に掲示します。

6. 受験にあたっての留意事項

- (1) 試験当日、受験者は試験開始15分前までに試験室に入室してください。
- (2) 試験開始時刻に遅れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- (3) 試験当日、受験者は受験票を必ず持参し、試験の際には机の上に置いてください。なお、受験票を忘れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。
- (4) 試験開始から終了までの間は退出を認めません。試験中の発病又は用便等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- (5) 試験科目（面接を含む。）のうち1科目でも受験しなかった者は、選考対象になりません。
- (6) 机の上には、黒鉛筆（シャープペン可）、鉛筆キャップ、消しゴム、定規、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、関数電卓（化学バイオコース及び社会システム土木コースの試験で、関数電卓を持参することになっている科目の受験時のみ）以外の携行品を置くことは出来ません。
- (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は、試験時間中に使用してはいけません。試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等にしまっておいてください。試験時間中に身に付けていたり、手に持っているとは不正行為となることがあります。
- (8) 試験場の下見では、建物内への立ち入りを禁止します。
- (9) 本学は、構内全面禁煙です。

- (10) 本入試により入学した者の学部学生としての学籍上の身分は、「退学」となります。従って、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部を卒業していることを要件としているものについては、受験資格がないことになります。

7. 身体に障がいのある入学志願者の事前相談について

障がい等のために、受験上及び修学上配慮を希望する者は、令和6年10月18日（金）までに、次の事項を記載した文書（様式自由）に医師の診断書又は障害者手帳の写しを添えて、鳥取大学工学部教務係へ提出してください。

なお、本研究科が必要と認めた場合には、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る者等との面談等を行います。また、上記期限後に、不慮の事故等により配慮が必要となった者は、その時点で速やかに相談してください。

- (1) 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号
- (2) 志望コース
- (3) 出身大学、学部、学科等
- (4) 障がいの種類・程度
- (5) 受験上特別な配慮を希望する配慮
- (6) 修学上特別な配慮を希望する配慮
- (7) 出身大学等でとられていた修学上及び生活上等の措置
- (8) 日常生活の状況

8. 合格発表

令和7年 3月 4日（火） 11時

本学ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、本人あて「合格通知書」を郵送します。（<https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>）

なお、電話等による照会には一切応じません。

※ 入学試験の可否の結果について、令和6年12月20日（金）に試験結果通知書を郵送（本学学生の場合は交付）します。なお、入学試験に合格した後に、在学期間・単位修得・学業成績等の条件を満たすことができなかった場合は、合格を取り消します。

9. その他

大規模災害等の不測の事態により入学試験の予定通りの実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は、試験時間の短縮や試験日時、入試方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合、対応を本学ホームページでお知らせしますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。

令和7年度
鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻入学者選抜試験
(一般入試・飛び級入試)

入学志願票

	受験番号	※	
志望コース	コース		
選択科目	化学バイオコースを志望する受験生のみ 次の専門科目1～4から2つ選択し、数字を○で囲んでください。※出願後の変更は認められません。 1.有機化学・分析化学, 2.無機化学・物理化学, 3.微生物学・分子生物学, 4.生化学・構造生物学		
フリガナ		鳥取大学学生番号 (本学在学生のみのみ)	
氏名			
生年月日	年 月 日生	性別	男 ・ 女
出願資格	国立 公立 私立 大学 学部 学科 専門学校 専攻 卒業・卒業見込み 修了見込		
連絡先	〒 携帯電話 - - 電話 - -		
履歴書			
年 月	高等学校卒業		
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			

- 注 1. 記入にあたっては、必ずインク又はボールペン（黒又は青）を使用してください。
2. ※印の欄を除きすべて記入し、該当事項を○で囲んでください。
3. 履歴は、高等学校卒業から現在（卒業見込み等）までを空白期間が無いように記入してください。なお、記入欄が不足する場合は、適宜別様に記載してください。
(自宅学習・予備校等も、もれなく記入してください。)

令和7年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 **写真票**
(一般入試・飛び級入試)

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
志望コース	コース

上半身・無帽・正面向き
出願3か月以内に撮影→

写真貼付
4 cm × 3 cm

令和7年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 **受験票**
(一般入試・飛び級入試)

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
志望コース	コース

写真票と同一のもの→

写真貼付
4 cm × 3 cm

*志望コースについてはコース一覧を参照

(切り離さないでください)

見本

令和7年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 (一般入試・飛び級入試)

振替払込受付証明書貼付票

- ◎日付印のある「振替払込受付証明書」を貼り付けてください。
- (本人保管の「振替払込請求書兼受領証」は貼り付けないでください。)
- ・必ず銀行又は郵便局(ゆうちょ銀行)窓口で振り込んでください。
(ATMは利用しないでください)
 - ・「振替払込受付証明書」に日付印が無い場合は無効です。

IV. 社会人特別入試

近代の科学技術の急速な進展に伴う社会的要請に応えるため、各種の研究機関、教育機関、企業等において活躍中の社会人に対して、高度の研究能力の涵養や新しい学問分野についての知識、技術の修得の機会を提供することは、大学と社会の交流を深める上で極めて有意義であるとともに、大学にとっても教育研究機能の活性化を図る機縁となります。

本大学院では、このような趣旨から、社会人に対して、一般の入試方法とは異なる方法により入学者の選抜を実施します。

この入試により入学した者に対しては、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育を実施します。

通常の教育方法では、企業等に活躍中の社会人研究者・技術者が博士前期課程で学ぶ場合、2年間完全に勤務を離れ学業に専念することになりますが、このような就学条件を満たすことは一般に困難です。したがって、このような社会人学生に対しては、大学院設置基準第14条に「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」と規定されているので、この制度を利用した教育方法の特例を実施するものです。

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法第104条第7項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
 - (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者及び令和7年3月31日までに22歳に達するもの
- (注) 出願資格(9)で出願する者は22ページ、(10)で出願する者は21ページを参照してください。

(注) 出願にあたっては、あらかじめ工学部教務係に必ずお問い合わせください。(裏表紙に記載の問い合わせ先参照)

2. 出願要件

社会人特別入試に出願することのできる者は、上記1の出願資格のいずれかに該当し、さらに次に該当する者とします。

- (1) 各種の研究機関、教育機関、企業等に職員として勤務している研究者又は技術者で勤務先の所属長又はこれに準ずる者の推薦を受けた者
- (2) 原則として入学後も研究機関、教育機関、企業等の身分を有する者

3. 志望方法

志望は、いずれか一つのコースに限ります。

志望するコースを入学志願票の志望コース欄に記入してください。

なお、出願にあたっては、事前に指導希望教員と相談のうえ出願してください。

※志望コースについては、24ページを参照してください。

4. 出願手続

(1) 出願期間

第1回 令和6年 7月23日(火)から 7月26日(金)まで (必着)

第2回 令和6年10月28日(月)から10月31日(木)まで (必着)

受付時間は、9時から17時まで

(2) 出願書類提出先

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部教務係

(3) 出願方法

入学志願者は、次の(4)の出願書類等を持参又は郵送により提出してください。

なお、郵送の場合は「書留」とし、封筒の表に「大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻出願書類等在中」と朱書してください。(期間内必着)

(4) 出願書類等 (※ 出願書類受付後の記載事項の変更は認めません。)

①志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
②写真票, 受験票, 振替払込受付証明書貼付票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 写真(上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの)を写真票及び受験票の所定の位置に貼り付けてください。 <写真の大きさ:縦4cm×横3cm> 検定料を本学所定の振込用紙で振り込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。
③志望理由書	本研究科を志望した動機並びに入学後の研究計画を踏まえた本研究科修了後の将来の抱負を記載したもの(A4判2枚程度で任意様式)。
④卒業証明書	出身大学等が作成したもの。
⑤学士の学位授与証明書	出願資格(2)に該当する志願者で、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。
⑥成績証明書	出身大学等が作成し、厳封したもの。
⑦推薦書	本学所定の用紙に記入してください。
⑧職務経歴書	本学所定の用紙に記入してください。
⑨研究計画書	本学所定の用紙に記入してください。
⑩在職証明書	各種の研究機関、教育機関、企業等に勤務している者で、入学後も職員の身分を有する者は、勤務先が作成したものを提出してください。なお、出願時に提出できない場合は、工学部教務係に連絡の上、試験日までには必ず提出してください。(様式任意)
⑪受験票等返送用封筒	郵便切手354円(速達料を含む。)を貼った長形3号封筒に、住所、氏名、郵便番号を明記してください。

⑫住所シール	住所シールに合格通知書及び入学手続き書類を受け取る郵便番号，住所，氏名を記入してください。
⑬住民票等 (外国人志願者のみ)	日本に在住する外国人志願者は，市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し（両面）等，在留資格が記載されたものを，その他の外国人志願者はパスポートの写しを提出してください。
⑭検定料	<p>30,000円</p> <p>本学所定の振込用紙を使用して，最寄りの銀行窓口又は郵便局（ゆうちょ銀行）窓口で振込みのうえ，「振替払込受付証明書」を必ず受け取り，「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。（ATMは利用しないでください。また，手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。）</p> <p>「振替払込請求書兼受領証」は領収書となりますので，大切に保管しておいてください。</p> <p>※検定料は，第1回入学試験を志願する者は令和6年7月12日（金）～7月26日（金）までに，第2回入学試験を志願する者は令和6年10月21日（月）～10月31日（木）までの期間に振り込みをしてください。</p> <p>なお，既納の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>（ア）検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった）場合</p> <p>（イ）検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合</p> <p>（ウ）検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>上記（ア）～（ウ）に該当する場合は，必ず工学部教務係（TEL 0857-31-5186）へ連絡してください。返還の際には，「振替払込受付証明書」又は「振替払込請求書兼受領証」が必要となる場合がありますので，大切に保管しておいてください。（返還方法等の詳細については，文書でお知らせします。）</p>

5. 入試方法

入学者の選抜は，出願書類及び面接の結果を総合して判定します。

6. 試験日時及び試験場

試験日 第1回 令和6年 8月21日（水）

第2回 令和6年12月 5日（木）

試験場 〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部

試験室等については，試験前日午後3時から工学部正面玄関に掲示します。

日程

コース	日時	科目等	備考
機械宇宙工学コース	11:00～	面接	
情報エレクトロニクスコース	14:00～	面接	
化学バイオコース	14:00～	面接	
社会システム土木コース	14:00～	面接	

7. 受験にあたっての留意事項

- (1) 試験当日、受験者は試験開始15分前までに試験室に入室してください。
- (2) 試験開始時刻に遅れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- (3) 試験当日、受験者は受験票を必ず持参し、試験の際には机の上に置いてください。
なお、受験票を忘れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。
- (4) 試験開始から終了までの間は退出を認めません。試験中の発病又は用便等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- (5) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は、試験時間中に使用してはいけません。試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等にしまっておいてください。試験時間中に身に付けていたり、手に持っているとは不正行為となることがあります。
- (6) 試験場の下見では、建物内への立ち入りを禁止します。
- (7) 本学は、構内全面禁煙です。

8. 身体に障がいのある入学志願者の事前相談について

障がい等のために、受験上及び修学上配慮を希望する者は、第1回は令和6年7月5日（金）までに、第2回は令和6年10月18日（金）までに、次の事項を記載した文書（様式自由）に医師の診断書又は障害者手帳の写しを添えて、鳥取大学工学部教務係へ提出してください。

なお、本研究科が必要と認めた場合には、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る者等との面談等を行います。また、上記期限後に、不慮の事故等により配慮が必要となった者は、その時点で速やかに相談してください。

- (1) 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号
- (2) 志望コース
- (3) 出身大学、学部、学科等
- (4) 障がいの種類・程度
- (5) 受験上特別な配慮を希望する配慮
- (6) 修学上特別な配慮を希望する配慮
- (7) 出身大学等でとられていた修学上及び生活上等の措置
- (8) 日常生活の状況

9. 合格発表

第1回 令和6年 9月 5日（木）11時

第2回 令和6年12月20日（金）11時

本学ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、本人あて「合格通知書」を郵送します。（<https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>）

なお、電話等による照会には一切応じません。

10. その他

大規模災害等の不測の事態により入学試験の予定通りの実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は、試験時間の短縮や試験日時、入試方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合、対応を本学ホームページでお知らせしますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。

令和7年度
鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻入学者選抜試験
(社会人特別入試)

入学志願票

		受験番号	※
志望コース	コース		
フリガナ		鳥取大学学生番号 (本学在学生のみのみ)	
氏名			
生年月日	年 月 日生	性別	男 ・ 女
出願資格	国立 公立 私立 大学 学部 学科 短期大学 高等専門学校 専攻 卒業 ・ 卒業見込 ・ 修了 ・ 修了見込		
連絡先	〒	携帯電話	電話
履歴書			
年 月	高等学校卒業		
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			

- 注 1. 記入にあたっては、必ずインク又はボールペン（黒又は青）を使用してください。
2. ※印の欄を除きすべて記入し、該当事項を○で囲んでください。
3. 履歴は、高等学校卒業から現在（卒業見込み等）までを空白期間が無いように記入してください。なお、記入欄が不足する場合は、適宜別様に記載してください。
(自宅学習・予備校等も、もれなく記入してください。)

令和7年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 **写真票**
(社会人特別入試)

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
志望コース	コース

上半身・無帽・正面向き
出願3か月以内に撮影→

写真貼付 4 cm × 3 cm

令和7年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 **受験票**
(社会人特別入試)

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
志望コース	コース

写真票と同一のもの→

写真貼付 4 cm × 3 cm

*志望コースについてはコース一覧を参照

(切り離さないでください)

見本

令和7年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 (社会人特別入試)

振替払込受付証明書貼付票

- ◎日付印のある「振替払込受付証明書」を貼り付けてください。
- (本人保管の「振替払込請求書兼受領証」は貼り付けないでください。)
- ・必ず銀行又は郵便局(ゆうちょ銀行)窓口で振り込んでください。
(ATMは利用しないでください)
 - ・「振替払込受付証明書」に日付印が無い場合は無効です。

〔社会人特別入試〕

推薦書

年 月 日

鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科長 殿

推薦者（所属・職名）

（氏 名） _____ 印

志願者氏名	
-------	--

志願者の業務年限・内容，将来の希望及び素質・人物等について記入してください。（記入後は厳封願います。）

見 本

（注） 推薦書の記入者は，勤務先の所属長又はこれに準ずる者で，本人を熟知し，職場において指導的立場にある者であること。

職務経歴書

年 月 日

所属機関
(会社名等)
氏 名

印

職 歴	在職期間	勤務先	主な職務内容
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		

研究計画に関する過去の職務内容(,000字以内)

見 本

研究業績等(論文, 口頭などの発表があれば, その題名, 発表機関, 発表年月などを記入)

〔社会人特別入試〕

研 究 計 画 書

年 月 日

所属機関
(会社名等)
氏 名

印

研究課題	
研究計画の概要（1,000字以内） <h1>見 本</h1>	

(注) 作成にあたっては、指導を希望する教員と相談のうえ記入してください。

V. 入学手続等

1. 入学手続

入学手続の方法等詳細については、令和7年2月中旬に合格者あて通知します。

(1) 入学料 282,000 円 (予定額)

・納入方法については、合格者あて通知します。

(2) 授業料 年額 535,800 円 [前期分 267,900 円 後期分 267,900 円] (予定額)

・納入時期は、前期は5月、後期は11月です。

・納入方法については、合格者あて通知します。

(注)ア 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ 入学料、授業料の免除 (又は徴収猶予) を希望する場合は、入学手続時に納入しないでください。

ウ 入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料、授業料を納入していただくことになります。

2. 入学料免除 (徴収猶予) 及び授業料免除について

次のいずれかの条件に該当し、入学料又は授業料の納入が著しく困難と認められる場合は、本人の事前申請に基づき選考の上、入学料又は授業料が免除 (全額又は半額) される制度があります。

(1) 経済的理由によって入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

(2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

(3) (2)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

詳細については、学生部学生生活課奨学係 (TEL (0857) 31-5059・6776) へお問い合わせください。

3. 国の教育ローン (日本政策金融公庫)

本学に入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

学生1人につき350万円以内を固定金利で利用でき、在学期間内は利息のみの返済とすることができます。

詳細については、日本政策金融公庫教育ローンコールセンター (0570-008656 (ナビダイヤル)) へお問い合わせください。

4. 奨学金制度について

独立行政法人日本学生支援機構等において、人物・学業とも優れ、かつ、健康であって、経済的理由により修学が著しく困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、奨学金を貸与し、修学を援助する制度があります。

詳細については、学生部学生生活課奨学係 (TEL (0857) 31-5059・6776) へお問い合わせください。

5. 学生教育研究災害傷害保険制度

本学では入学後に大学生活を安心して過ごせるよう、学生教育研究災害傷害保険制度へ全員加入としています。保険料は2年間で1,750円です。民間の保険制度に比べてかなり安価な掛け金で傷害にあった際には補償されます。

詳細については、保健管理センター (TEL (0857) 31-5065) へお問い合わせください。

(注) この保険は、正課中、課外活動中又は大学構内あるいは通学途中に被った不慮の事故で死亡、負傷した場合に支払われる傷害保険です。

6. 長期履修制度について

この制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年間）を超えて一定の期間（最長4年間）にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することができるものです。

また、授業料は、3年間（又は4年間）で履修する場合は、2年間分を3年間（又は4年間）に分割して納めることとなります。

なお、長期履修制度の適用を希望する者は、入学手続き時に鳥取大学工学部教務係に申請してください。

VI. 出願資格審査

「本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で22歳に達した者及び令和7年3月31日までに22歳に達する者」の出願資格審査について

一般入試の「1. 出願資格の(10)」又は、社会人特別入試の「1. 出願資格の(10)」に該当する者の出願資格審査は、次のとおり行います。

- (1) 上記に該当する者とは、次の①又は②を満たす者とします。
- ① 短期大学、高等専門学校を卒業し、科学・技術関係分野における業務経験を2年以上有する者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ② 短期大学、高等専門学校を卒業し、著書、学術論文、学術講演、学術報告及び特許等において学士卒業論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者
- (2) 上記(1)に該当する志願者は、それぞれ下記の期間に工学部教務係へ次の①～④の書類を持参又は郵送により提出してください。
- なお、郵送の場合は「書留」とし、封筒の表に「大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。
- 第1回（一般入試，社会人特別入試）の審査の結果は，令和6年6月11日（火），
第2回（一般入試，社会人特別入試）の審査結果は，令和6年10月9日（水）に本人あてに郵送します。
- ◎出願資格審査書類受付期間
- 第1回 令和6年 5月21日（火）から 5月24日（金）まで（必着）
第2回 令和6年 9月30日（月）から10月 2日（水）まで（必着）
- 受付時間は，9時から17時まで
- ① 入学試験出願資格審査調書（様式1）
 - ② 研究業績調書（様式2）（論文等がある場合は，別刷等を添付してください。）
 - ③ 短期大学又は高等専門学校の「卒業証明書」及び「成績証明書」
 - ④ 返信用封筒（郵便切手344円（速達料を含む。）を貼った長形3号封筒に，住所，氏名，郵便番号を明記したもの）
- (3) 出願資格審査の結果，出願資格を満たす者と認定された場合は，一般入試にあつては6ページの「4. 出願手続」，社会人特別入試にあつては16ページの「4. 出願手続」により，所定の手続を行ってください。

令和 7 年度
鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻
入学試験出願資格審査調書

フリガナ					
氏 名		現 職		志 望 コース	コース
		現住所			
生年月日	年 月 日				
学 歴					
年 月 日	事 項				
職 歴					
年 月 日	事 項				
学会及び社会における活動等					
年 月 日	事 項				
本書の記載事項に相違ないことを証明する。 年 月 日 所在地 機 関 名 所属長名 印					

見 本

(注) 学歴は高校卒業以降をもれなく記入してください。

研 究 業 績 調 書

氏 名		志望コース	コース
-----	--	-------	-----

過去の研究又は職務内容（800字以内）

見 本

主要な論文等の一覧表

学術論文，研究発表・報告，特許等の名称	発行又は発表の 年月日	発行所，発表雑誌等又 は発表学会等の名称	備考（共著者名又は 共同発表者名）

注 1. 論文等は新しい年代から順に記載してください。また，学術論文等は，別刷又は写しを添付してください。

2. この調書の記入欄が不足する場合は，適宜この様式で別紙を作成して記入してください。

「学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者」の出願資格審査について

一般入試の「1. 出願資格の(9)」又は、社会人特別入試の「1. 出願資格の(9)」に該当する者の出願資格審査は、次のとおり行います。

(1) 上記に該当する者とは、他大学院へ飛び入学した学生で本研究科への受験を希望する者

(2) 上記(1)に該当する志願者は、それぞれ下記の期間に工学部教務係へ次の①～④の書類を持参又は郵送により提出してください。

なお、郵送の場合は「書留」とし、封筒の表に「**大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻出願資格審査申請書類在中**」と朱書してください。

第1回（一般入試，社会人特別入試）の審査の結果は，令和6年6月11日(火)，第2回（一般入試，社会人特別入試）の審査結果は，令和6年10月9日(水)に本人あてに郵送します。

◎出願資格審査書類受付期間

第1回 令和6年 5月21日(火)から 5月24日(金)まで（必着）

第2回 令和6年 9月30日(月)から10月 2日(水)まで（必着）

受付時間は，9時から17時まで

① 入学試験出願資格審査調書（様式3）

② 大学院の在学証明書又は修了証明書

③ 在学していた大学の成績証明書

④ 返信用封筒（郵便切手344円（速達料を含む。）を貼った長形3号封筒に，住所，氏名，郵便番号を明記したもの）

(3) 出願資格審査の結果，出願資格を満たす者と認定された場合は，一般入試にあつては6ページの「4. 出願手続」，社会人特別入試にあつては16ページの「4. 出願手続」により，所定の手続を行ってください。

Ⅶ. 入学者の受入れの方針

【持続性社会創生科学研究科】

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程では、次のような人を広く受け入れます。

1. 地域学、工学、農学または国際乾燥地科学に関する学士課程の専門知識・技術等を身につけている人
2. 持続性社会の創生に対する地球規模の課題と地域の課題に関して、幅広い視野と深い知識の修得を志す人
3. 高い倫理観を身につけて、持続性社会の創生と発展に他者と共同して貢献することを志す人
4. 持続性社会を創生するために、それぞれの専門性を生かし、他分野との連携を図るコミュニケーション力を身につけようとする人

各専攻等では、これらの人を受け入れるため、多角的かつ総合的な評価による入試の機会を設けます。

【工学専攻（博士前期課程）】

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科工学専攻では、次のような人を広く受け入れま

す。

1. 機械宇宙工学、情報エレクトロニクス、化学バイオまたは社会システム土木に関する学士課程相当の専門知識・技術等を身につけている人
2. 工学分野の多様化するニーズに対応できる知識・技術を学び、研究活動を通じて両者を調和させて一体化することのできる広い視野と深い学識を身につけた技術者・研究者を目指す人
3. 高い倫理観を身につけて、持続性社会の創造と発展に貢献する高度の専門性を有する技術者・研究者を目指す人
4. 持続性社会を創生する工学の問題に挑み、対処するための高度な課題発見・解決力とコミュニケーション力を身につけようとする人

工学専攻ではこれらの人を受け入れるため、一般入試、推薦入試、社会人特別入試などにより、多角的かつ総合的な評価による選考を行います。

VIII. コース一覧

○機械宇宙工学コース

機械宇宙工学コースでは、工学分野の多様なニーズに対応できる人材として、機械工学のみならず、航空宇宙、材料、電子、情報、環境などの様々な工学分野において、既存の枠にとらわれずに学際的な見地から技術開発を進めることができる高度な技術者及び研究者を養成する。さらに、高度な専門知識を修得させるとともに独創性のある研究に従事させることにより、主体的に問題解決に向けてリーダーシップを発揮できる人材を育成することを目的とするとともに、具体的には以下の教育目標を実施する。

- 1 幅広い機械工学の基礎知識や、宇宙工学のような様々な先端的かつ学際的工学分野の礎となる応用数学、力学、物理学などの基礎知識に裏付けられた、より高度な専門知識を身につける。
- 2 自然環境と人間社会の調和を考え、柔軟な発想と洞察力によって、大局的な観点から問題点を把握し、リーダーシップを発揮して、組織的に問題を解決できる力を身につける。

○情報エレクトロニクスコース

20世紀に発明された携帯電話、インターネット、ロボットなどが、21世紀に入り、身近なものとなっている。これは、小型化、高速化、高機能化に代表される情報エレクトロニクス分野における技術の進歩によるものである。この分野は、マイクロエレクトロニクス、コンピュータ、人工知能、医療エレクトロニクス、オプトエレクトロニクスなど、多岐にわたっている。これらは独立に発展しているのではなく、互いに深く関連しており、将来のわが国の高度電子情報社会を支える基盤技術となるものである。各専門分野は更なる進展とともに、総合化による進展が望まれており、加えて、従来以上に数学や物理学のような基礎的科目の深い理解も必要となってきた。

このような社会的な要請に応えるため、基礎から応用に渡る研究と教育を行うと同時に、関連分野の広い見識を深め、独創的技術の開発と研究を担うことのできる人材を養成する。

○化学バイオコース

化学工業では、質的な優位性に主眼をおいて新たな工業価値の創造への動きが2つの方向で試みられている。1つは原子や分子のレベルで物質・材料を精密設計するマテリアルサイエンスであり、もう1つは生物を活用して物質生産をはかるバイオテクノロジーである。一般に学問上あるいは技術上の大きなブレークスルーは、2つの分野が結びついたときに起こることが多いといわれている。新技術創出の基礎となる大学院の研究、特に多くの学際領域をもつ化学においては、異なる分野との結びつきがますます重要になっている。最近、生体现象の機構の主要部分は、分子的相互作用による分子識別に由来するとされ、生命観と物質観との壁はなくなりつつあり、それとともに化学と生物学は融合しつつある。本専攻はこのような背景のもとに、化学と生物に基礎をおく物質変換・生産の分野を体系的にとらえ、従来の化学工業における基幹的技術はもちろんのこと、物質生産にかかわる微生物学や遺伝子工学の分野も入れた、新しい化学技術を担う人材を育成するための研究教育を行う。

○社会システム土木コース

社会基盤整備の目的は、各種の施設を計画・建設・維持管理して、豊かで文化的な社会環境を実現することにあるが、その基本的な考え方は、効率優先から環境との調和を重視する方向へと移りつつある。

博士前期課程（2年間）では、高度な専門知識・技術の教授と高度な教育研究により、社会資本の整備、安全で安心な地域の創造と活性化、さらには地球環境の保全に関する情報を社会システムの的に分析検討して、快適かつ活力のある社会を創造するためのハードウェアとソフトウェアの方法論を追及し、これを幅広く実践して快適で豊かな社会を創造していく技術者・研究者を育成することを目的とする。

教育研究分野，担当教員及び研究テーマ*

※募集時点での予定であり，教員の異動等により変更になる場合があります。

①機械宇宙工学コース

教育研究分野		教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
材 料	固体力学	松野 崇 0857-31-5188 matsu■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 金属材料の大変形域変形抵抗の計測とモデル化 塑性変形に伴う塑性誘起損傷のマルチスケール解析 マイクロ・ナノスケール損傷現象のイメージベース逆解析
	材料工学	陳 中春 0857-31-5707 chen■tottori-u.ac.jp 音田 哲彦 0857-31-6786 onda■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 高性能熱電変換材料の創製 3D プリンタを駆使した革新的高強度・高延性チタン合金の開発 マルエージング鋼やステンレス鋼の積層造形 セラミックス基複合材料の In-situ 合成およびマルチ相化効果 セラミックス粒子強化アルミニウム基複合材料の合成および高強度化 高熱伝導率を有するアルミニウム/炭素系複合材料の開発 新規抗ウイルス粉体材料の創製および耐久性の向上
デ ザ イ ン	信頼性・設計工学	小野 勇一 0857-31-5193 ono■tottori-u.ac.jp 西 遼佑 0857-31-5192 nishi■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 金属材料の疲労強度評価に関する研究 実験応力解析法に関する研究 歯車の高強度化に関する研究 交通流のモデル化に関する研究 交通渋滞緩和の方法論に関する研究
	生産加工学	佐藤 昌彦 0857-31-5195 sato■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 金属切削加工 機械加工における熱放射温度計測 ターンミリングのモデル化 フライス切削のびびり安定性モデリング
ロ ボ メ カ	機械力学・ メカトロニクス	田村 篤敬 0857-31-6793 a-tamura■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 傷害バイオメカニクスに関する研究 人体モデリング・生体材料を用いた力学実験 衝突解析
		本宮 潤一 0857-31-7506 hongu■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 機械の振動・騒音低減に関する研究 機械装置の異常予兆検知技術の開発
	制御・ ロボティクス	辻田 勝吉 0857-31-5198 ktsujita■tottori-u.ac.jp 中谷 真太朗 0857-31-5190 snakatani■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 脚移動ロボットの高機能化に関する研究 宇宙機の機能設計と運動制御に関する研究 人の運動支援システムの開発に関する研究 点検・診断・介護ロボットの研究 生体信号の計測と処理 ブレインマシン・インタフェースのリハビリテーションへの応用
熱 流 体	宇宙推進工学	葛山 浩 0857-31-5205 katsurayama■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> レーザー推進式ロケットのエネルギー変換過程の研究 レーザー爆轟波の超高速風洞への応用 電磁力を用いた大気圏突入用減速機の開発
	流体工学	酒井 武治 0857-31-5202 tsakai■tottori-u.ac.jp 松野 隆 0857-31-5204 matsuno■tottori-u.ac.jp 小田 哲也 0857-31-5206 odate■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 大気突入宇宙機熱防御システム開発 熱空力，アブレーション，輻射，表面熱化学反応 高温プロセスの数値シミュレーション 航空機・輸送機器の空力解析と低抵抗化 プラズマアクチュエータを用いた流体制御に関する研究 流れの数値シミュレーションによる解析・開発 液体燃料の微粒化と噴霧燃焼に関する研究 噴霧および燃焼の計測法に関する研究 エンジンの燃焼解析と排気ガス低減に関する研究

■は@に置き換える。

教育研究分野	教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
数 理 力 学	複雑系数理工学 古川 勝 0857-31-5731 furukawa■tottori-u. ac. jp 大信田 丈志 0857-31-6759 ooshida■tottori-u. ac. jp	<ul style="list-style-type: none"> ・磁場閉じ込め核融合プラズマの磁気流体力学 (MHD) 理論・シミュレーション ・ハミルトン力学理論に基づくプラズマ平衡・安定性解析 ・構造保存数値シミュレーション法 ・コロイド液体の統計物理 ・粉粒体ペーストの弾塑性モデル ・加振した浅水系の流れ
	数理物質科学 灘 浩樹 0857-31-5629 hnada■tottori-u. ac. jp	<ul style="list-style-type: none"> ・結晶形成機構のメタダイナミクス研究 ・非晶質構造や物質形状の機械学習研究 ・機能性分子による結晶形成制御機構
	計算理工学・ 物理計算工学 小谷 岳生 0857-31-6741 tkotani■tottori-u. ac. jp 榑原 寛史 0857-31-5725 sakakibara■tottori-u. ac. jp	<ul style="list-style-type: none"> ・電子状態計算方法 (特に電子相関を系統的に取り入れていく方法) の研究開発 ・遷移金属を含む化合物等の基礎物性を信頼性の高い計算によって予言する研究 ・第一原理計算による物質の原子構造の研究 ー特に表面構造, 構造の相変化ー ・超並列データサイエンス (特に先端計測インフォマティクス) ・スーパーコンピュータを用いた計算物質科学と工学応用
数 理 応 用	ナノシステム 解析学・ 分子流体力学 松岡 広成 0857-31-5759 hiro■tottori-u. ac. jp 土井 俊行 0857-31-6766 doi■tottori-u. ac. jp 石川 功 0857-31-5324 tishikawa■tottori-u. ac. jp	<ul style="list-style-type: none"> ・分子間/表面間相互作用の研究 ・液体/固体超薄膜の研究 ・トライボロジー現象の超高精度計測 ・分子気体/液体潤滑の研究 ・計算トライボロジーの研究 ・情報機器ハードウェアのダイナミクスに関する研究 ・希薄気体の流れの研究
	生体システム 解析学 後藤 知伸 0857-31-5199 goto■tottori-u. ac. jp 中井 唱 0857-31-5499 nakai■tottori-u. ac. jp	<ul style="list-style-type: none"> ・微細な流れの観察及び数値シミュレーション ・微生物の集団及び単独の運動 ・細菌の走化性の観察及び数値シミュレーション ・流体音の発生機構と低減技術 ・流れを伴う開口部の音響インピーダンス計測
	再生可能エネルギー 工学 原 豊 0857-31-6758 hara■tottori-u. ac. jp	<ul style="list-style-type: none"> ・先端技術風車の研究開発 ・風力タービンの数値流体力学解析 ・小形風車の最適配置に関する研究

■は@に置き換える。

②情報エレクトロニクスコース

教育研究分野	教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
知能制御工学	榎田 大輔 0857-31-5213 kushida■tottori-u.ac.jp 竹森 史暁 0857-31-5212 take■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・生体信号に基づく感覚の定量化 ・画像処理の基づく行動評価システム ・意思決定モデリングと経験則の抽出 ・人に対するパワーアシスト制御システムの設計 ・移動ロボットの知的制御
	吉川 宣一 0857-31-6789 nyoshi■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・光センシング・光計測 ・デジタルホログラフィ ・立体ディスプレイ ・散乱イメージング
計算機工学	川村 尚生 0857-31-5217 kawamura■tottori-u.ac.jp 高橋 健一 0857-31-5811 takahashi■tottori-u.ac.jp 東野 正幸 0857-31-5810 higashino■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・分散システム ・社会情報システム ・エージェントシステム ・ネットワーク・情報セキュリティ
	村田 真樹 0857-31-5548 murata■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・自然言語処理 ・情報検索・情報抽出 ・機械学習
知識工学	吉村 和之 0857-31-5223 kazuyuki■tottori-u.ac.jp 清水 忠昭 0857-31-5224 tadaaki■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・非線形科学 ・非線形ダイナミクスを用いた情報処理 ・デジタル音声信号処理 ・ニューラルネットワークを用いた信号処理
	木村 周平 0857-31-5227 kimura■tottori-u.ac.jp 徳久 雅人 0857-31-5805 tokuhisa■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・進化計算 ・バイオインフォマティクス ・自然言語処理における意味解析および感情推定 ・観光情報の応用
	岩井 儀雄 0857-31-5624 iwai■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・計算インタラクション ・パターン認識 ・ヒューマンメディア処理 ・拡張現実感
	西山 正志 0857-31-6083 nishiyama■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・画像認識 ・映像解析 ・ヒューマンインタフェース
電子情報制御	中川 匡夫 0857-31-5745 nakagawa■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェアラブル機器の無線伝送および光無線伝送 ・生体センサの高精度化信号処理 ・高周波回路設計
	笹岡 直人 0857-31-5493 sasaoka■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・音声強調 ・デジタル無線通信方式 ・能動騒音制御
電子情報制御	近藤 克哉 0857-31-5699 kondo■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータビジョン ・バイオ画像解析・医用工学 ・計測制御システムの知能化

■は@に置き換える。

教育研究分野	教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
電気電子システム	中西 功 0857-31-5132 nakanishi■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル信号処理応用 ・バイオメトリクス個人認証 ・音声信号処理
	大木 誠 0857-31-5688 mohki■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的最適化のための進化的計算アルゴリズム ・記号・数値混合の組合せ多目的最適化問題 ・データ構造の多目的最適化
	齋藤 健太郎 0857-31-5697 saitouken■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・無線通信システム ・IoT システム ・ドローンの無線通信システムへの活用
	三柴 数 0857-31-5756 mishiba■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・画像処理 ・コンピューテーショナルフォトグラフィ
電子物性デバイス	市野 邦男 0857-31-5240 ichino■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・光デバイス・電力デバイス用ワイドバンドギャップ半導体の研究 ・高効率太陽電池の研究 ・高効率紫外・可視発光素子の研究
	阿部 友紀 0857-31-5233 abe■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイドギャップ化合物半導体の結晶成長に関する研究 ・青-紫外受光デバイス(アバランシェフォトダイオード)の開発 ・青-紫外光変調器の開発 ・高効率紫外発光デバイスの開発
	大観 光徳 0857-31-6700 ohmi■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・エレクトロルミネッセンス・ディスプレイの研究 ・植物育成用波長変換膜の研究開発 ・ソーラーパネル用波長変換膜の研究開発 ・白色LED 照明用蛍光体の研究
	西村 亮 0857-31-5237 ryo■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー技術による海水の淡水化などの乾燥地開発 ・静電気および高電圧に関する研究 ・太陽光発電
マイクロ・ナノ 電子デバイス工学	李 相錫 0857-31-5961 sslee■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオ/ケミカル/医療用 MEMS デバイスの研究開発 ・IoT 用センサと IoT システムに関する研究 ・メタマテリアルの設計及び応用 ・RFMEMS 及び高周波デバイスに関する研究
	松永 忠雄 0857-31-5104 matsunaga■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・低侵襲医療 MEMS デバイスの研究開発 ・極細径光ファイバ MEMS センサの研究開発 ・ロボット外科手術用マイクロセンサの研究開発 ・マイクロアクチュエータを用いた触覚ディスプレイの開発 ・非平面基板への微細加工技術の研究

■は@に置き換える。

③化学バイオコース

教育研究分野	教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
グリーン触媒化学	片田 直伸 0857-31-5684 katada■tottori-u. ac. jp 辻 悦司 0857-31-5257 e-tsuji■tottori-u. ac. jp	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼオライト及び固体酸触媒の原理と応用 ・重質油、メタン、バイオマス、廃プラスチックから有用物質への転換に資する触媒及びプロセス開発 ・機能材ナノ造体の合成 ・水電解および二酸化炭素還元用電極触媒・助触媒の開発
無機元素化学	南条 真佐人 0857-31-5516 nanjo■tottori-u. ac. jp	<ul style="list-style-type: none"> ・14族元素を鍵とするイオン液体の合成と機能性デバイスの創成 ・機能性電子材料を指向した有機ケイ素および有機ゲルマニウム化合物の分子設計と開発
応用電気化学	坂口 裕樹 0857-31-5265 sakaguch■tottori-u. ac. jp 薄井 洋行 0857-31-5634 usui■tottori-u. ac. jp 道見 康弘 0857-31-5249 domi■tottori-u. ac. jp	<ul style="list-style-type: none"> ・リチウムおよびナトリウムおよびカリウム貯蔵性材料の創製とその二次電池への応用 ・全固体二次電池の開発 ・光電変換に基づく新規エネルギー貯蔵材料の開発 ・二次電池電極の反応挙動解析
分子集積化学	松浦 和則 0857-31-5262 ma2ra-k■tottori-u. ac. jp 稲葉 央 0857-31-5331 hinaba■tottori-u. ac. jp	<ul style="list-style-type: none"> ・人工ウイルス構造の創製と応用 ・生体分子の自己組織化によるナノ構造体の構築 ・光応答性生体分子システムの創成 ・微小管内部空間を利用した機能性材料の創製
有機材料化学	伊福 伸介 0857-31-5592 sifuku■tottori-u. ac. jp 赤松 允顕 0857-31-5693 makamatsu■tottori-u. ac. jp	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用資源の有効利用 ・バイオナノファイバーの利用開発 ・生体高分子を用いた機能材料の開発 ・天然高分子を用いた界面機能の開拓 ・光応答性分子集合体の構築と応用
有機合成化学	野上 敏材 0857-31-5179 tnokami■tottori-u. ac. jp	<ul style="list-style-type: none"> ・分子糖質科学 ・有機電気化学 ・機能性イオン液体
無機材料化学	増井 敏行 0857-31-5264 masui■tottori-u. ac. jp	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しい色材の合成と応用 ・新しい希土類蛍光体の設計 ・無機系紫外線遮断剤の開発 ・希土類を含有する不均一系触媒の調製
生物機能関連化学	森本 稔 0857-31-5990 m-morimoto■tottori-u. ac. jp	<ul style="list-style-type: none"> ・生体関連高分子の機能化 ・生体関連物質の分析
生物機能開発工学	大城 隆 0857-31-5269 ohshiro■tottori-u. ac. jp 鈴木 宏和 0857-31-5907 hirokazusuzuki■tottori-u. ac. jp 八木 寿梓 0857-31-5948 yagi■tottori-u. ac. jp	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物と海藻の新しい機能の発見と応用・開発と基礎研究 ・微生物と海藻の機能を利用する物質生産と環境保全への応用展開研究 ・微生物と海藻における生理活性物質の代謝と次世代炭素源の代謝に関わる酵素と遺伝子の解明 ・高変異性好熱菌を利用した酵素進化学 ・未利用海洋資源を用いた新規医療素材の開発

■は@に置き換える。

教育研究分野	教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
生体触媒工学	岡本 賢治 0857-31-5276 okamoto■tottori-u.ac.jp 原田 尚志 0857-31-5946 harada■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・担子菌由来の生理活性物質の単離と生産 ・担子菌由来の生理活性物質の作用機序の解明 ・担子菌によるリグノセルロース分解酵素, エタノールおよびキシリトールの生産 ・パスウェイエンジニアリングによる有用イソプレノイドの生産 ・高等植物・微細藻類由来イソプレノイド合成遺伝子の機能同定 ・微細藻類による有用物質生産
蛋白質工学	溝端 知宏 0857-31-5691 mizobata■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・タンパク質, 酵素の構造と機能相関 ・タンパク質の構造形成 ・タンパク質の安定性とコンフォメーション変化 ・分子シャペロンとアミロイド線維凝集
生物有機化学	花島 慎弥 0857-31-5636 hanashima■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な構造を持つ生体有機分子：相互作用と生命機能の解明 ・脂質膜に作用する有機分子：開発と作用機構の解明 ・生体分子の有機合成
構造生物学	永野 真吾 0857-31-5273 snagano■tottori-u.ac.jp 日野 智也 0857-31-5744 t_hino■tottori-u.ac.jp 佐藤 裕介 0857-31-5272 yusato■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・生理活性物質生合成系の構造生物学的研究 ・アナモックス菌の窒素化合物変換の分子基盤 ・動物による熱感知システムの構造生物学的研究 ・膜タンパク質の構造生物学的研究 ・ユビキチンシグナルの構造生物学

■は@に置き換える。

④社会システム土木コース

教育研究分野	教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
構造・コンクリート工学	谷口 朋代 0857-31-5287 t_tomoyo■tottori-u.ac.jp 野口 竜也 0857-31-6097 noguchit■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・土木構造物、機械構造物及び海洋構造物の構造設計 ・土木構造物、機械構造物及び建築構造物の耐震性能 ・土木構造物、機械構造物及び海洋構造物の維持管理 ・地盤・構造物の地震応答特性の評価 ・GIS 及び人工衛星技術を用いた自然災害のハザード評価
	黒田 保 0857-31-5523 tkuroda■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・産業副産物のコンクリートへの有効利用 ・コンクリートおよびコンクリート構造物の耐久性評価 ・コンクリートおよびコンクリート構造物の補修・補強 ・コンクリート構造物の劣化予測と維持管理
地盤・岩盤工学	中村 公一 0857-31-5986 nak_x■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・飽和土および不飽和土の力学的性質 ・斜面防災とモニタリング
	小野 祐輔 0857-31-5286 ysk■tottori-u.ac.jp 河野 勝宣 0857-31-5755 kohnom■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤構造物の地震応答解析 ・地盤災害の数値シミュレーション ・斜面災害のハザード・リスク評価 ・粘土鉱物に着目した土・岩石の物性の解明 ・粘土鉱物を含有した材料による岩盤の力学特性の向上
水工・海岸工学	三輪 浩 0857-31-5295 miwa-h■tottori-u.ac.jp 和田 孝志 0857-31-5284 wada-t■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・混合砂礫の移動機構と河床変動予測 ・河道への土砂供給による河床変動、流路変動 ・土砂動態に及ぼす河道構造物の影響 ・土石流流動メカニズムの解明 ・山地～河川～河口域にわたる流砂系内の土砂動態把握
	黒岩 正光 0857-31-5299 kuroiwa■tottori-u.ac.jp 梶川 勇樹 0857-31-5696 kajikawa■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・波と海浜流の数値解析モデル ・漂砂と海浜変形予測 ・河口・航路の維持管理 ・沿岸防災とモニタリング ・河川流や津波による地形変化解析
地圏環境・建築工学	香川 敬生 0857-31-5641 kagawa■tottori-u.ac.jp 塩崎 一郎 0857-31-5642 shiozaki■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・強震動予測 ・震源破壊過程・地盤構造が地震動に及ぼす影響 ・地殻・マントル上部構造とダイナミクスの地震学的、地球電磁気学的研究 ・地球電磁気学的手法に基づく地震及び火山の研究
	浅井 秀子 0857-31-5746 asai■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・建築計画 ・建築環境
地域システム	福山 敬 0857-31-5312 fukuyama■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・地域都市システムの理論・実証分析 ・社会経済モデルによる定量的政策評価手法の開発 ・土木計画学・都市計画
	桑野 将司 0857-31-5313 kuwano■tottori-u.ac.jp 南野 友香 0857-31-5320 minamino■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・生活・交通行動分析手法の開発 ・ビッグデータを用いた計画論 ・土木計画学・交通工学・都市計画 ・サービスの品質管理・評価 ・意思決定モデルの開発
	谷本 圭志 0857-31-5310 tanimoto■tottori-u.ac.jp 長曾我部 まどか 0857-31-5760 mchoso■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・持続的社会システムの計画方法論の開発 ・生活交通システムの計画論 ・生活支援サービスの設計・分析 ・市民参加型計画プロセスの設計 ・地域運営組織の分析・評価

■は@に置き換える。

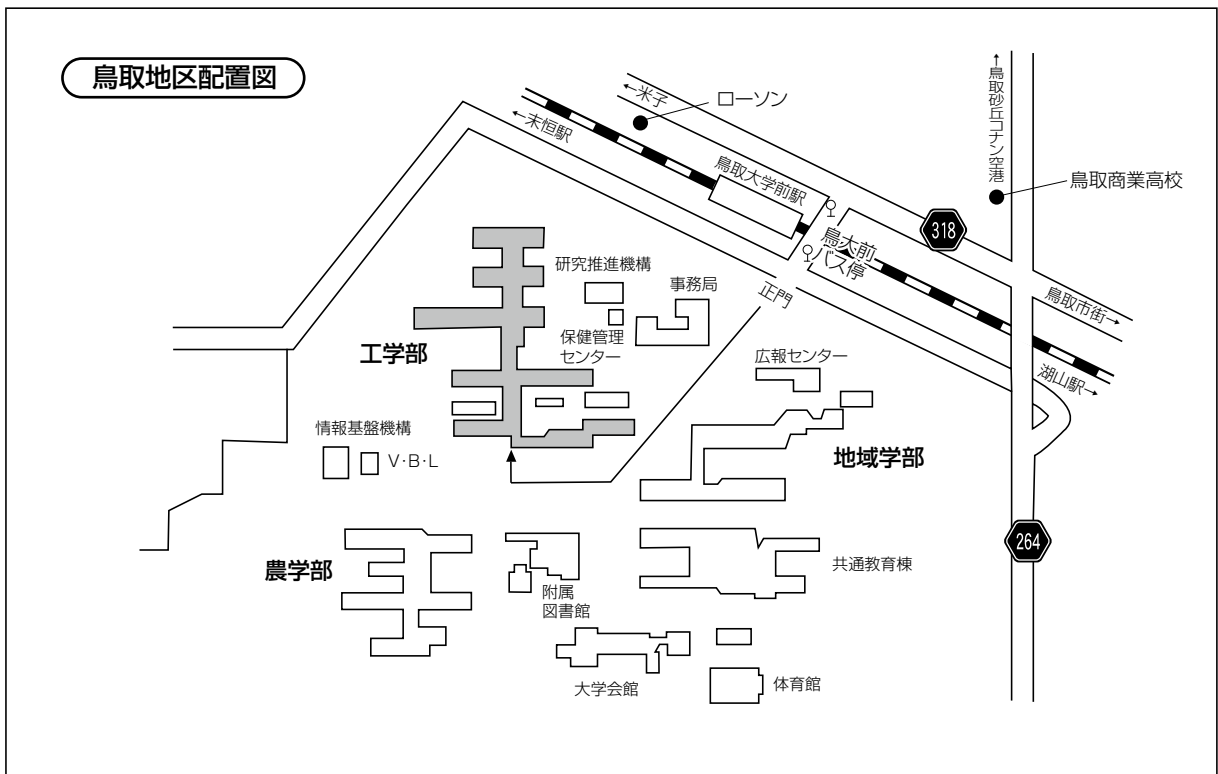
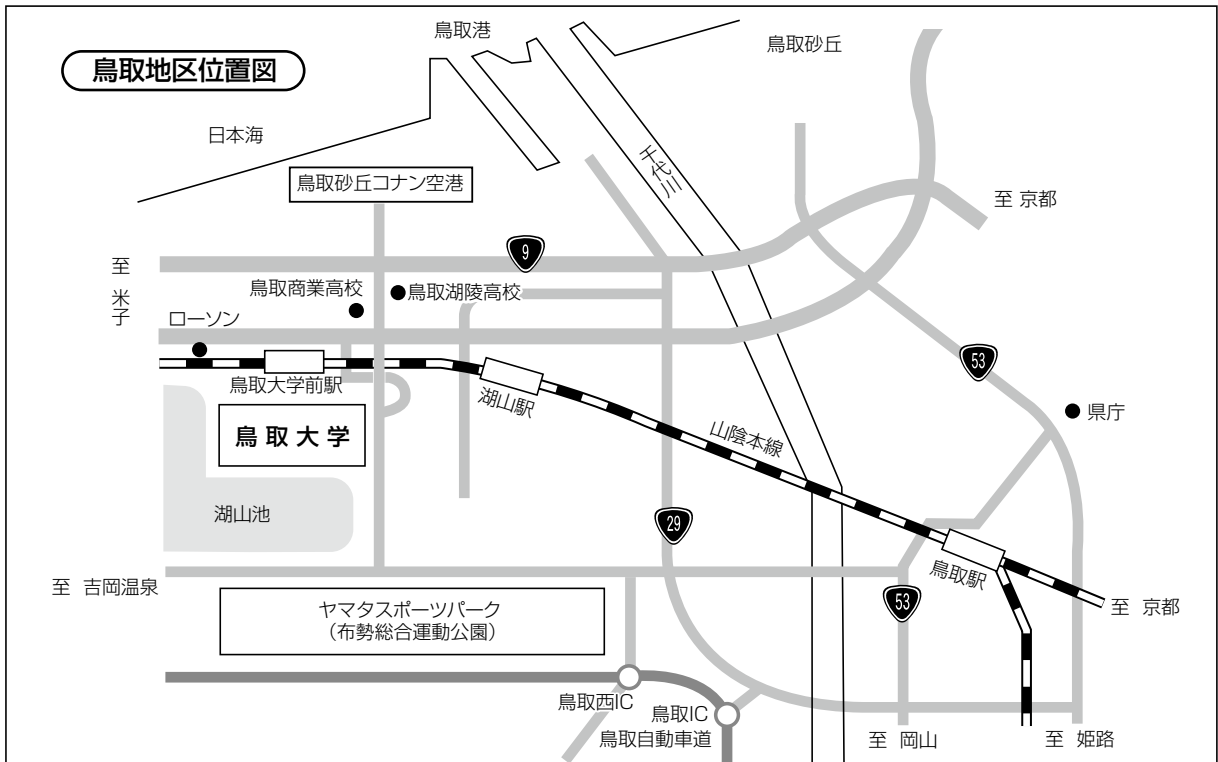
教育研究分野	教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
防災計画	太田 隆夫 0857-31-5309 ohta■tottori-u.ac.jp 江本 久雄 0857-31-5316 emoto■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・避難シミュレーション等に基づくソフト防災 ・港湾・海岸構造物の性能劣化評価に関する研究 ・社会基盤施設の維持管理モデルに関する研究 ・XR (Cross Reality) と AI による橋梁維持管理支援システムに関する研究 ・舗装路面評価システムに関する研究
環境計画	宮本 善和 0857-31-5318 miyamoto■tottori-u.ac.jp 高部 祐剛 0857-31-5337 takabe.yugo■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・流域/環境経営に関する社会デザイン ・環境デザインに関する研究 ・気候変動の適応策としての防災マネジメント ・循環型社会に向けた微生物の応用 ・水質環境の保全, 管理 ・環境配慮型社会システム

■は@に置き換える。

試験場案内

鳥取地区（工学部）試験場への道順

- (1) JR鳥取大学前駅で下車すぐ
 - (2) JR鳥取駅北口バスターミナルからバスを利用し，鳥大前下車（所要時間約30分）
 - (3) 鳥取砂丘コナン空港からタクシーで約5分，徒歩約30分
- ※飛行機他，公共交通機関を利用の場合は，天候の不順等による遅延・欠航・運休にご留意願います。



受験に関する問い合わせ先

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科
博士前期課程工学専攻

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地

鳥取大学工学部教務係 (TEL 0857-31-5186)

E-mail : en-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp